

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月28日

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6266-7332
 2019年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	60,056	1.2	1,078	32.4	1,249	18.4	1,215	19.4
2019年3月期第2四半期	59,327	3.5	1,595	14.7	1,530	18.7	1,017	19.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,191百万円 (17.5%) 2019年3月期第2四半期 1,444百万円 (21.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	147.03	
2019年3月期第2四半期	123.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	67,883	35,192	51.3
2019年3月期	61,148	33,893	55.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 34,819百万円 2019年3月期 33,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		47.00	47.00
2020年3月期		24.00			
2020年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	0.5	3,000	0.3	3,100	4.1	2,000	20.3	242.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	10,568,000 株	2019年3月期	10,568,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	2,288,036 株	2019年3月期	2,305,932 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	8,267,157 株	2019年3月期2Q	8,251,355 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の底堅い推移や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が見られるものの、米中貿易摩擦をはじめとした通商問題を巡る緊張の増大で、先行き不透明感が続いております。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年の中期経営計画「SPARKS 2020」の最終年度を迎えました。3点の重点方針である「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の実現に向け、差別化商材の供給力強化、優良取引先との取り組み深耕をはじめ新分野ビジネスの構築や国内外のグループ経営基盤の強化を遂行してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は60,056百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1,078百万円（前年同期比32.4%減）、経常利益は1,249百万円（前年同期比18.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,215百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

[繊維セグメント]

<原料分野>

原料分野は、天然繊維原料は、依然として続く各産地の低調な商況が影響し、主力事業の綿糸販売は非常に苦戦を強いられました。合成繊維原料は、加工糸や備蓄糸の販売は好調に推移したものの、高付加価値原料では急な需要の高まりに生産、供給体制が追いつかない状況が見られました。

このような状況の下、当社グループは、テキスタイル分野との連携による相乗効果の創出を推進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により、経費削減による収益基盤の構築に努めるとともに、売上の維持・拡大を図りました。

この結果、原料分野の売上高は8,909百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

<テキスタイル分野>

テキスタイル分野は、ニッターや染工場の人手不足により生産キャパシティの不足が益々深刻化してきております。このため生産日程が余計にかかり、早期発注を余儀なくされ在庫が増大することになり、非常に厳しい環境下で苦戦を強いられております。また依然として運賃、工賃や倉敷料の増加が収益を圧迫している状況です。

このような状況の下、当社グループは、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との合同展示会開催による販売強化に努めました。また営業組織の変更に伴う原料分野との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は7,034百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

<繊維二次製品分野>

繊維二次製品分野は、特にトレンドに左右される商材は、6～7月の天候不順だけでなく8月以降の猛暑も加わり夏物・秋物ともに店頭での売れ行きが不調でした。一方で実用衣料となるインナー・子供服や、付加価値性の高い商材は好調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負い製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル分野との協業やブランドビジネスの発想を取り入れた新規オリジナル商材の開発を加速し、市場での競争力強化に努めました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は41,669百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

[不動産セグメント]

当第2四半期連結累計期間における不動産セグメントの売上高は235百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,014百万円増加し、51,494百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,720百万円増加し、16,388百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5,113百万円増加し、25,478百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、7,212百万円となりました。これは、引当金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加し、35,192百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,215百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想(2019年5月13日に発表しました連結業績予想)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,563,803	5,672,024
受取手形及び売掛金	27,478,943	28,999,365
電子記録債権	6,894,174	6,379,503
たな卸資産	8,013,270	9,501,782
その他	1,767,321	1,186,075
貸倒引当金	△238,035	△244,434
流動資産合計	47,479,477	51,494,317
固定資産		
有形固定資産	4,598,384	4,953,698
無形固定資産		
のれん	330,618	776,245
その他	285,974	767,157
無形固定資産合計	616,592	1,543,402
投資その他の資産		
投資有価証券	5,900,665	6,467,640
その他	3,175,482	4,141,115
貸倒引当金	△622,362	△716,883
投資その他の資産合計	8,453,786	9,891,871
固定資産合計	13,668,764	16,388,972
資産合計	61,148,242	67,883,289
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,532,719	10,955,360
電子記録債務	1,859,550	1,950,439
短期借入金	1,961,137	5,339,473
1年内返済予定の長期借入金	525,704	1,285,704
未払法人税等	654,073	637,993
賞与引当金	457,616	476,521
その他の引当金	63,020	27,859
その他	4,311,098	4,804,792
流動負債合計	20,364,919	25,478,143
固定負債		
長期借入金	4,345,054	4,442,202
繰延税金負債	315,419	319,634
引当金	52,649	222,500
退職給付に係る負債	1,058,618	1,029,503
その他	1,118,397	1,198,774
固定負債合計	6,890,139	7,212,615
負債合計	27,255,059	32,690,758

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	865,102	938,937
利益剰余金	32,509,896	33,371,264
自己株式	△1,920,921	△1,906,084
株主資本合計	32,542,077	33,492,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,682,375	1,630,044
繰延ヘッジ損益	71,649	82,995
為替換算調整勘定	5,781	△7,945
退職給付に係る調整累計額	△408,701	△377,746
その他の包括利益累計額合計	1,351,104	1,327,348
非支配株主持分	—	373,065
純資産合計	33,893,182	35,192,530
負債純資産合計	61,148,242	67,883,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	59,327,231	60,056,037
売上原価	51,352,733	51,518,156
売上総利益	7,974,498	8,537,881
販売費及び一般管理費	6,378,833	7,459,392
営業利益	1,595,664	1,078,489
営業外収益		
受取利息	7,664	12,090
受取配当金	144,435	89,197
持分法による投資利益	—	196,714
その他	37,802	45,914
営業外収益合計	189,902	343,915
営業外費用		
支払利息	34,029	25,382
売上割引	11,637	8,709
貸倒引当金繰入額	76,677	92,860
為替差損	3,168	30,491
持分法による投資損失	119,515	—
その他	10,190	15,873
営業外費用合計	255,218	173,317
経常利益	1,530,348	1,249,088
特別利益		
固定資産売却益	61,168	—
抱合せ株式消滅差益	—	399,584
特別利益合計	61,168	399,584
税金等調整前四半期純利益	1,591,517	1,648,672
法人税等	573,460	433,135
四半期純利益	1,018,056	1,215,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,017,984	1,215,536

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,018,056	1,215,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,372	△58,802
繰延ヘッジ損益	247,842	11,345
為替換算調整勘定	1,678	△13,726
退職給付に係る調整額	△15,251	30,954
持分法適用会社に対する持分相当額	—	6,309
その他の包括利益合計	426,642	△23,919
四半期包括利益	1,444,699	1,191,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,444,637	1,191,617
非支配株主に係る四半期包括利益	61	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,591,517	1,648,672
減価償却費	121,258	173,458
のれん償却額	157,026	157,026
貸倒引当金の増減額(△は減少)	90,796	100,921
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,368	△15,751
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,500	△50,500
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△61,643	7,107
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31,013	△37,940
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△132,168	△126,528
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,000	△30,149
受取利息及び受取配当金	△152,099	△101,287
支払利息	34,029	25,382
持分法による投資損益(△は益)	119,515	△196,714
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△113
固定資産除売却損益(△は益)	△60,993	5,175
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	△399,584
売上債権の増減額(△は増加)	△4,179,097	△789,444
固定化債権の増減額(△は増加)	1,977	△1,622
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,171,786	△1,146,039
仕入債務の増減額(△は減少)	1,651,467	433,520
未払金の増減額(△は減少)	217,783	△37,068
その他	△263,930	221,642
小計	△2,120,232	△159,838
利息及び配当金の受取額	149,160	105,574
利息の支払額	△33,741	△25,784
法人税等の支払額	△143,620	△665,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,148,434	△745,676
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△64,041	△264,438
定期預金の払戻による収入	64,802	266,517
有形固定資産の取得による支出	△54,972	△173,270
有形固定資産の売却による収入	109,366	25,242
無形固定資産の取得による支出	△59,398	△398,875
投資有価証券の取得による支出	△6,067	△323,012
投資有価証券の売却による収入	5,000	521
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	178,711
関係会社株式の取得による支出	—	△111,196
関係会社出資金の払込による支出	—	14,000
貸付けによる支出	△635,062	△251,437
貸付金の回収による収入	499,753	54,032
その他	△2,986	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,606	△983,204

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,531,121	3,292,732
長期借入金の返済による支出	△12,852	△12,852
非支配株主からの払込みによる収入	—	430,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△570
自己株式の取得による支出	△1	△158
配当金の支払額	△383,861	△386,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,134,405	3,322,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,627	△5,768
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△146,006	1,588,125
現金及び現金同等物の期首残高	3,511,284	3,079,194
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	462,129
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,365,278	5,129,449

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。